

11連続防衛

WBCバンタム級・山中さん

「一戦一戦の積み重ねが結果に」

WBC(世界ボクシング評議会)バンタム級チャンピオンでボクシング部OBの山中慎介さん(平17商II帝拳)が、同級1位のアンセルモ・モレノ選手(パナマ)と防衛戦(9月16日、大阪市・エディオンアリーナ大阪)を行った。山中さんは3度ダウンを奪い、七回1分9秒TKO勝ちで11連続防衛を果たした。モレノ選手は、2015年9月にも対戦し、判定勝ちと苦戦を強いられ

た相手。今回は一回、クレーンヒットを受け一瞬ぐらつくも、終了間際ダウンを奪う。四回にダウンしたが、六回に得意の左ストレートがヒット。山中さんの代名詞「神の左」でダウンを奪った。合戦を生かし、精いっぱい戦った。特にKOを意識してはいなかった」と淡々と話す。

当日は、山中さんの地元・滋賀県湖南市や京都などから数千人の応援団が駆け付けた。「試合中に声援が聞こえてきて大きな励みになった。応援してくださる皆さんの存在はどうれいものはない」とファンに感謝の気持ちを表した。

30年以上破られていない具志堅用高さんの13連続防衛という大記録の更新が期待される。「記録は意識していない。一戦

一戦の積み重ねが結果に表れるだけ」ときっぱりと語った。山中さんの専大時代にコーチを務めたボクシング部の小坂則夫監督は「彼の武器は、ピンポイントに正確な左右のパンチを打てること。これができるから基本のワン・ツー・ストレートが生きて、得意の左ストレートの炸裂につながる。学生時代に基礎練習を徹底的にやることが生きている。(10月11日34歳になり)年齢的に筋力のピークを迎えた。練習を欠かさず、ボクシングに対する謙虚な姿勢を見てもさらに強くなるはず」と語った。

もっと上位にいったら、という悔しさがあろう結果に終わったが「入賞したうれしさと同時にさらに精進したい」と話した。同じ100kg未満級に出場した村山龍(経営2・専大松戸高)は、大相撲でもなかなか出ない珍手の播磨投げで勝利を奪うなど5位に入賞した。(谷田祐樹・法2II写真も)

東日本学生相撲リーグ戦II9月25日、東京都・靖国神社相撲場

専大は昨年より順位を一つ上げ6位。1部の座を守った。1部は8大学が所属し、1試合9人でチームを組み、個人の勝利数が順位を決める。初戦からチームとして白星を挙げられなかったが、個人では村山、岩間弘将(経営2・弘前実業高)、横田新樹(商4・鳥取城北高)が計11勝。さらに唯一の1年次生、戸田隼介(商1・東京学園高)の活躍で、最終戦

を積み上げ、昨年よりも順位を上げることができた。この流れでインカレでも好成績をつかみたい」と話した。(谷田祐樹・法2) 田部瑛介(経営1・苫小牧東高、左から2人目)のゴールを祝うII神大戦

11連続防衛は内山高志さんとの対戦。今回は一回、クレーンヒットを受け一瞬ぐらつくも、終了間際ダウンを奪う。四回にダウンしたが、六回に得意の左ストレートがヒット。山中さんの代名詞「神の左」でダウンを奪った。合戦を生かし、精いっぱい戦った。特にKOを意識してはいなかった」と淡々と話す。

当日は、山中さんの地元・滋賀県湖南市や京都などから数千人の応援団が駆け付けた。「試合中に声援が聞こえてきて大きな励みになった。応援してくださる皆さんの存在はどうれいものはない」とファンに感謝の気持ちを表した。

30年以上破られていない具志堅用高さんの13連続防衛という大記録の更新が期待される。「記録は意識していない。一戦

一戦の積み重ねが結果に表れるだけ」ときっぱりと語った。山中さんの専大時代にコーチを務めたボクシング部の小坂則夫監督は「彼の武器は、ピンポイントに正確な左右のパンチを打てること。これができるから基本のワン・ツー・ストレートが生きて、得意の左ストレートの炸裂につながる。学生時代に基礎練習を徹底的にやることが生きている。(10月11日34歳になり)年齢的に筋力のピークを迎えた。練習を欠かさず、ボクシングに対する謙虚な姿勢を見てもさらに強くなるはず」と語った。

もっと上位にいったら、という悔しさがあろう結果に終わったが「入賞したうれしさと同時にさらに精進したい」と話した。同じ100kg未満級に出場した村山龍(経営2・専大松戸高)は、大相撲でもなかなか出ない珍手の播磨投げで勝利を奪うなど5位に入賞した。(谷田祐樹・法2II写真も)

東日本学生相撲リーグ戦II9月25日、東京都・靖国神社相撲場

専大は昨年より順位を一つ上げ6位。1部の座を守った。1部は8大学が所属し、1試合9人でチームを組み、個人の勝利数が順位を決める。初戦からチームとして白星を挙げられなかったが、個人では村山、岩間弘将(経営2・弘前実業高)、横田新樹(商4・鳥取城北高)が計11勝。さらに唯一の1年次生、戸田隼介(商1・東京学園高)の活躍で、最終戦

を積み上げ、昨年よりも順位を上げることができた。この流れでインカレでも好成績をつかみたい」と話した。(谷田祐樹・法2) 田部瑛介(経営1・苫小牧東高、左から2人目)のゴールを祝うII神大戦

高橋裕一監督は「競り合いの試合が増えるので、点を取るべき場面でしっかり得点すること、気の緩みから生じるミスや失点をなくすることが力になる。リーグ戦を制して、昨年できなかったグループA復帰を成し遂げたい」と語った。目標に向けてリーグ戦は始まったばかりだ。(飛田翼・文2II写真も)

都合により写真を掲載いたしません。紙面をご覧ください。

専大スポーツ

No. 367

激戦を制し「神の左」で祝福に心える山中さんII毎日新聞社提供

大会結果 予定は体育会ホームページ(専大ホームページ「スポーツ」からアクセス)で確認ください。専大スポーツ編集部 web(http://sensupo.web.fc2.com/) 大会結果を配信しています。



トロフィーを手に笑顔の及川

男子単U21 ITTFワールドツアーII8月31日~9月4日、チェコ・オロ

一モウツ 専大から、三部航平(商1・青森山田高)と

男子単U21

及川が準優勝

及川瑞基(商1・青森山田高)が日本代表として出場し、及川が男子シングルスU21で準優勝を果たした。

及川は、決勝トーナメントの1回戦から準決勝まで落としたセットは一つのみと順調に勝ち進んだが、決勝はストレートで敗れた。

「決勝はカットマンに対して戦術がまとまらな

いまま、あっとい間に終わってしまった」と振



相手を突き落とす福山=1回戦

100kg未満級

福山3位

全国学生相撲個人体重別選手権II9月18日、大阪府堺市・大浜公園相撲場

専大からは5人が出場し、100kg未満級で福山聖和主将(商4・鹿児島商高)が3位入賞を果たした。

1回戦は突き落とし。続く準々決勝は1分を越す長い取組になったが、「土俵際だけに気をつけて焦らずに攻めた」と言うように寄り切って勝利した。

準決勝で敗れ3位とい

した。同じ100kg未満級に出場した村山龍(経営2・専大松戸高)は、大相撲でもなかなか出ない珍手の播磨投げで勝利を奪うなど5位に入賞した。(谷田祐樹・法2II写真も)

東日本学生相撲リーグ戦II9月25日、東京都・靖国神社相撲場

A復帰へ好スタート



田部瑛介(経営1・苫小牧東高、左から2人目)のゴールを祝うII神大戦

関東学生アイスホッケーリーグ戦ディビジョンIグループBII9月18日~11月27日、西東京市・ダイドードリンコアイスアリーナ

4戦を終え、3勝1敗と、グループA復帰に向けて好スタートを切った。

春の関東大学選手権では3試合で5得点と得点力に欠けていた専大。夏の合宿ではスコアリング

を積み上げ、昨年よりも順位を上げることができた。この流れでインカレでも好成績をつかみたい」と話した。(谷田祐樹・法2) 田部瑛介(経営1・苫小牧東高、左から2人目)のゴールを祝うII神大戦

マラソン部門

座間が日本記録

世界ローラースケートスピード選手権大会II9月10~18日、中国・南京

座間天平(文1・船橋芝山高)がマラソン部門で日本記録を更新し、ジ

ユニア最高位の18位に入った。最高時速50km以上で疾走するインラインスケートスピード部門。シニア

・ジュニア合わせての初めてのレースとなった今大会で堂々たる結果を残

した。座間は「2014年のアジア選手権で初めて海外の舞台に立って力



世界選手権で快調な滑りを見せた座間(左端)

ルを獲得したい」と意気込む。持ち前の粘り強さを武器に、再び世界へ挑戦する。

また、アジア選手権にはリンクホッケー競技に常盤直樹(法4・屋代高)、松原光(商2・岐阜聖徳学園高)が日本代

表として出場する。長距離種目でメダ

(上野夏帆・文2)